

平成 23 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者（Ⅲ類の事業者を除く）
	Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 東芝
所在地	東京都港区芝浦1-1-1
事業者番号	0079
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	26,165 kl/年
大規模小売店舗面積 (10,000m <sup>2</sup> 以上の場合)	m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	電気機械器具製造業
分類番号 (中分類)	29
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、資本金等)	事業内容：半導体、家電製品、電力システム、流通・産業システム等の開発、設計、製造及び販売 従業員数：34,224人 資本金：4,399億円
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	

## (3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
深谷事業所 環境・施設管理部	048-574-2306

## (4) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(k l)
単独で1500kL以上の事業所		
007901	(株) 東芝 深谷事業所／東芝モバイルディスプレイ(株) 本社	26,151
1500 kL未満の事業所の合算		
007900		14
合計		26,165

## (5) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット利用による公表	アドレス	<a href="http://www.toshiba.co.jp/dm/env/dm/">http://www.toshiba.co.jp/dm/env/dm/</a>
<input checked="" type="checkbox"/>	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	東芝深谷事業所内 108号建屋玄関 お客様案内所
		所在地 1	深谷市幡羅町1-9-2
		閲覧可能時間 1	8:00 ~ 16:45 (休業日を除く)
		閲覧場所 2	東芝深谷事業所内 601号建屋玄関
		所在地 2	深谷市幡羅町1-9-2
		閲覧可能時間 2	8:30~17:15 (休業日を除く)
<input type="checkbox"/>	その他		

## (6) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
1	深谷事業所 環境・施設管理部	048-574-2311	048-574-2869	<a href="mailto:sachiko.hirahara@toshiba.co.jp">sachiko.hirahara@toshiba.co.jp</a>
2				
3				

## (7) 県による公表希望 (IV類 (任意事業者) のみ記入)

県による報告書の公表を希望	
---------------	--

2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所に記載する旨を記載

1. 経営理念  
 人間尊重を基本として、豊かな価値を創造し、世界の人々の生活・文化に貢献する企業をめざします。

2. 環境基本方針  
 経営理念に基づき、次の環境マネジメント活動を実施します。  
 ①環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、経済と調和させた環境活動を推進する。  
 ②地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開する。  
 ③優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献する。

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所に記載する旨を記載

事業所に記載

4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算（t-CO<sub>2</sub>）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	40,656				
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0				
その他温室効果ガス	3,431				

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 23 年度

事業所番号

007900

## 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 事業所の概要

## (1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所（合算）
A	

## (2) 事業所及び事業活動

代表事業所名	株式会社 東芝 首都圏支社	事業所数	1
代表事業所所在地	さいたま市大宮区宮町1-114-1		
原油換算エネルギー使用量(kL)（前年度）	14		
産業分類名（中分類）	電気機械器具製造業		
分類番号（中分類）	29		
事業活動の概要 <small>（事業内容、従業員数、敷地面積、延べ床面積等）</small>	事業内容：社会システム関係（上下水道管理システム） 官公庁向け営業 従業員数：21名 延床面積：585.96㎡		
商標又は商号 <small>（連鎖化事業者のみ）</small>			

## 2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

## (1) 削減目標

計画期間	23年度	～	26年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> （必須）	平成14年度から平成16年度の3年間の二酸化炭素排出量平均34t-CO <sub>2</sub> に対し、平成26年度末までに41%削減（14t-CO <sub>2</sub> ）する。	
	その他ガス		

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標		21	21	20	20	20
	実績	22	21				
その他ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標					
		実績					
	メタン	目標					
		実績					
	一酸化二窒素	目標					
		実績					
	ハイドロフルオロカーボン	目標					
		実績					
	パーフルオロカーボン	目標					
		実績					
	六フッ化硫黄	目標					
		実績					
温室効果ガスの合計		目標	21	21	20	20	20
		実績	22	21			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO<sub>2</sub>）

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

		計画期間前		計画期間			
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	目標		0.0357	0.0357	0.0340	0.0340	0.0340
	実績	0.0366	0.0356				
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 [単位 t/年]						
	<input type="radio"/> 出荷額 [単位 t/年]						
	<input type="radio"/> 従業員数 [単位 人]						
	<input checked="" type="radio"/> 床面積 [単位 m <sup>2</sup> ]	590	586	586	586	586	586
	<input type="radio"/> [単位 ]						

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量

別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移

別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

別紙4号

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エネルギー使用量の要因別把握	平成21年度	
2	130100	空調設備・換気設備	13_空調和の運転管理	エアコン設定温度の適正管理 (温度設定目安：夏28℃、冬20℃)	平成21年度	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率タイプの照明器具への更新	平成24年度	
4	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	ブラインドの適正運用による窓面からの日射負荷の抑制	平成23年度	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						



別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

株式会社 東芝 首都圏支社

自由記述欄

県が定める係数以外の電気の排出係数を用いた場合のエネルギー起源CO2排出量 (22年度)

排出係数 (t-CO2/千kWh)	係数の根拠	エネルギー起源CO2 排出量(t-CO2)

平成 23 年度

事業所番号

007901

## 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 事業所の概要

## (1) 事業所種別

事業所種別	平成20年度以降の3か年度（年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度）連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所（他の事業所の一部（区分所有部分、テナント部分等）である事業所は除く）
C	

## (2) 事業所及び事業内容

事業所名	(株) 東芝 深谷事業所 / 東芝モバイルディスプレイ (株) 本社		
所在地	埼玉県深谷市幡羅町1-9-2		
直近3年のエネルギー 原油換算使用量(kℓ)	20年度	21年度	22年度
	42,474	27,821	26,151
産業分類名（中分類）	情報通信機械器具製造業		
分類番号（中分類）	30		
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等)	事業内容：・液晶テレビの開発・設計及び製造 ・業務用カメラ、航空機用ディスプレイ管の製造 ・液晶パネルの開発・設計及び製造 従業員数：1,886人（2010年4月1日現在） 敷地面積：288,000㎡ 延床面積：188,960㎡		

## (3) 地球温暖化対策推進者（事業所に推進者がいる場合）

所属部署	電話番号
環境・施設管理部	048-574-2306

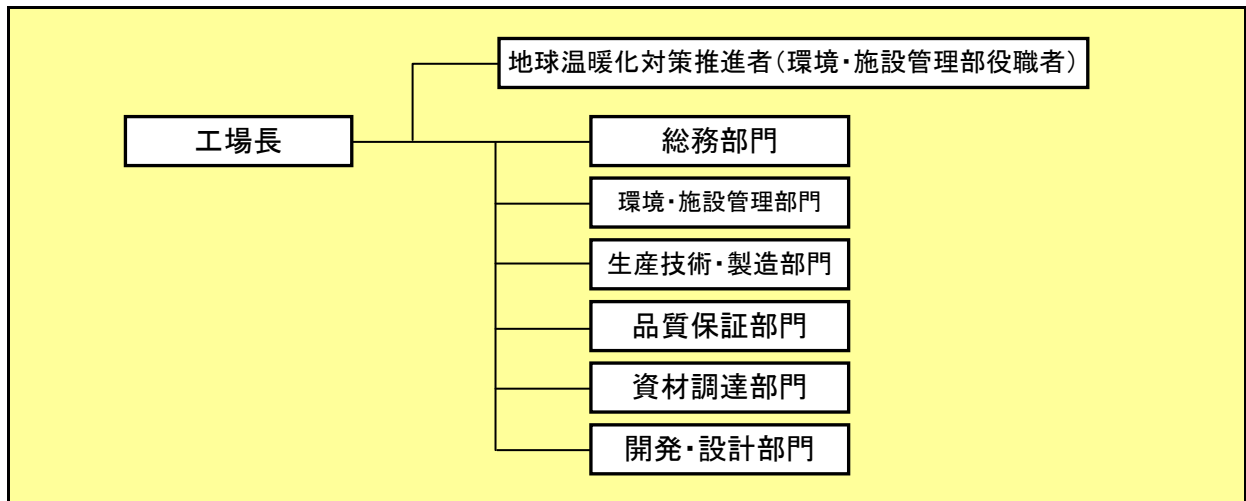
## 2 事業所の地球温暖化対策推進における基本方針（事業所で定めている場合）

## (基本方針)

地球環境問題が人類の生存に重要な課題であることを深く認識し、環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境保全活動を推進します。そして豊かな価値の創造と地球との共生を図り、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指して、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境目的・目標を定め、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的改善を全員参加で推進する。
2. 環境保全に関する法的要求等の順守は企業の社会的責務ととらえ、さらに自主基準を設けて環境保全レベルの向上を図る。
3. 環境負荷の低減に配慮した環境調和型製品づくりを推進し、環境性能の優れた製品とサービスを広く世界に提供する。
4. 事業活動が環境に及ぼす負荷の低減と環境汚染の予防に努める。
5. 生態系の保護や自然との共生に配慮するとともに、地域・社会とのコミュニケーションを密にして強調連帯を図る。

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制（事業所で定めている場合）



4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

削減計画期間		23	年度	～	26	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	削減計画期間中の基準排出量に対し、17.7% (44,864t-CO <sub>2</sub> )削減します。(253,448t-CO <sub>2</sub> → 208,580t-CO <sub>2</sub> )				
	その他のガス	平成20年度のその他ガスのCO <sub>2</sub> 排出量を基準として、平成26年度末までに16,131t-CO <sub>2</sub> (約80%)削減します。(20,131t-CO <sub>2</sub> → 4,000t-CO <sub>2</sub> )				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の目標概要	基準排出量	63,362	t-CO <sub>2</sub> /年			
	排出可能上限量 (計画期間合計)	238,244	t-CO <sub>2</sub>			

5 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

				計画期間前		計画期間			
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		目標		43,740	47,760	50,670	55,350	54,800	
		実績	43,312	40,635					
その他ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標							
		実績							
	メタン	目標							
		実績							
	一酸化二窒素	目標							
		実績							
	ハイドロフルオロカーボン	目標							
		実績							
	パーフルオロカーボン	目標		740	800	900	900	900	
		実績	806	754					
	六フッ化硫黄	目標		2,430	2,900	3,100	3,100	3,100	
		実績	2,533	2,677					
温室効果ガスの合計		目標		46,910	51,460	54,670	59,350	58,800	
		実績	46,652	44,065					

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況 (エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間前		計画期間			
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位		目標		0.2315	0.2527	0.2682	0.2929	0.2900	
		実績	0.2292	0.2150					
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量	単位							
	<input type="radio"/> 出荷額	単位							
	<input type="radio"/> 従業員数	単位							
	<input checked="" type="radio"/> 床面積	単位 m <sup>2</sup>	188,960	188,960	188,960	188,960	188,960	188,960	
	<input type="radio"/> ( )	単位							

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

事業所C

(株) 東芝 深谷事業所 / 東芝モバイルディスプレイ (株) 本社

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ボイラー運転管理の見直し (燃焼効率改善)	平成23年度	
2	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601クリーンルーム空圧設定変更 (20Pa→15Pa)	平成21年度	
3	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601空調風量の見直し (風量バランス調整、ファンの削減)	平成21年度	
4	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601クリーンルームの空調効率改善	平成22年度	
5	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率空調機の導入	平成22, 24年度	H22:1台 (#102クリーンルーム) H24:6台 (#102, #106)
6	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601外調機の排熱再利用	平成24年度	
7	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率ターボ冷凍機更新	平成25年度	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	#513コンプレッサー用冷却塔統合化	平成20年度	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	#601コンプレッサーエア圧力上限値変更 (0.8MPa→0.78MPa)	平成21年度	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ゼロパージドライヤの導入 (コンプレッサー)	平成25年度	
11	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	インバータコンプレッサーと台数制御装置導入	平成26年度	
12	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	窒素発生装置の運転調整 (MOS#1停止による適正容量化)	平成21年度	
13	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	廃液の内製処理化による濃縮装置の運転停止	平成22年度	平成22年度下期より
14	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	LED照明の導入	平成22, 23, 24年度	H22:誘導灯, 駐車場外灯他 (84灯) H23:常夜灯照明 (100灯) H24:構内外灯 (28灯)
15						



(※希望者のみ記載)

(株) 東芝 深谷事業所 / 東芝エレクトロニクス(株) 本社

自由記述欄

1. ISO14001の取得  
当工場では、平成9年1月にISO14001を取得し、地球温暖化対策、廃棄物の削減、化学物質の排出量削減などに取り組んでいる。

2. クリーンルーム運転管理の見直し  
電力使用量の割合が大きいクリーンルームの運転において室圧と品質の相関調査を実施。これまでの室圧20Paを下げて問題がないと判明し、15Paに設定変更して外調機の使用電力を削減した。

3. 高効率タイプ設備の導入  
①工場内変電設備の高効率タイプへの更新を計画的に推進し、導入している。  
②平成21年度よりLED照明の導入を開始し、継続的に拡大していく。

4. A重油使用の廃止  
ボイラーの更新及び汚泥乾燥機の改造を行い、燃料をA重油から都市ガスに切替えて、CO2排出量の多いA重油の使用を廃止した。

5. 省エネのPR活動  
CSR活動の一環として開催されるサマーフェスティバルで環境コーナーを設け、近隣住民のお客様に省エネのPR活動を行っている。

・環境報告書  
[http://www.toshiba.co.jp/env/jp/factory/index\\_j.htm](http://www.toshiba.co.jp/env/jp/factory/index_j.htm)

県が定める係数以外の電気の排出係数を用いた場合のエネルギー起源CO2排出量 (22年度)

排出係数 (t-CO2/千kWh)	係数の根拠	エネルギー起源CO2 排出量(t-CO2)